高松宮賜杯県代表戦
横越野球クラブが準優勝

横越野球クラブ	0
日本軽金属	1

第十七回高松宮賜杯全日本軟式野球大会新潟県代表決定戦は、七月二十一、二十二日三条市営野球場で、各地区予選に勝ち進んできた八チームによってその覇が競われ、本村から横越野球クラブが出場した。

同クラブの活躍はめざましく、決勝まで勝ち進み、日軽金（新潟市）と対戦したが、延長十二回接戦のすえ、一対〇でサヨナラ負けを喫し、惜しくも北越大会への夢は消えた。

しかし、同クラブは、クラブを設立してからまだ三年、しかも、野球人口の少い本村にあって、県大会に出場したこの偉業は賞賛にあたえするものである。

同クラブは、設立以来連日きびしい練習を重ねてきた。その成果がみのって、亀田ブロック予選、中蒲原郡大会、下越地区大会を順調に勝ち進んできた。

新潟県代表決定戦では、二十一日長岡スターズ（長岡市）を二―〇と完封、勢いにのった同クラブは、翌二十二日の準決勝で新潟市役所（新潟市）を七―一の大差で勝った。

決勝戦は、強豪日軽金と対戦、両チーム投手の好投もあってタイムリーヒットが出ず延長戦にもちこまれた。

延長戦に入っても両者譲らず、好試合が続いたが、十二回裏日軽金は、横越野球クラブのエラーも手伝って無死満塁、この後、左中間適時打で横越野球クラブは、貴重な一点を失い涙をのんだ。

青年籠球県大会出場権を得る

八月十九日に新潟市で行われる県青年大会の予選を兼ねた下越地区青年バスケット大会は、七月二十二日中条高校体育館で開催された。

本村青年は、中蒲代表として参加、Cブロックで前回優勝した五泉市を61対45で破り県大会の出場権を手にした。

中蒲青年大会本村で開催

中蒲原郡青年球技大会は、七月十五日本村を会場にして行われた。

真夏の炎天下に若人の熱戦がくりひろげられ、男子バスケットに本村青年は、決勝戦で村松と対戦、一〇四対二という大差をもって楽勝した。

一方、女子バレーボールは一回戦で小須戸と対戦、二対〇で勝ち、村松と決勝戦を競ったが二対一で惜しくも敗れた。

また、野球男・女卓球はそれぞれ一回戦で苦杯したものの、女子卓球個人戦で遠藤秀子さんが二位に入賞するなどの健斗があった。

◈　◈　◈

豊かな趣味生活のために
楽焼き教室を開設

公民館では、村民各層から「ものをつくる楽しさ」や、豊かな趣味生活をおくっていただきたいものと、このほど一般成人を対象に楽焼き教室を開設した。

楽焼きは高令者大学で、すでに一昨年から行われており高令者の間では、大変な好評を得ている。

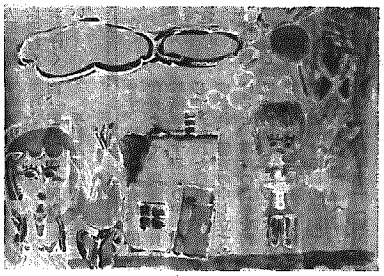
第一回楽焼教室は、七月二十二日新津市の陶芸家西潟政市氏を講師に招き指導をうけた。

第一回の教室では、信楽粘土を素材に、盃、灰皿、花びん、抹茶茶わん、湯のみなどがつくられた。

次回は、八月十一日午後から先きにつくられたもの（天日乾燥後素焼きにされている）に絵づけ、うわ薬仕上げを行い本焼きをする予定。

公民館では、こうした楽焼きを各種学級や講座、グループや個人でも創作活動ができるようにしたいと考え、一、二〇〇度まで焼ける楽焼窯を購入した。

こども サロン



小杉小学校一年　串田明美さん

＜評＞
初めて絵の具を使って描いた図画です。まだ慣れないせいか、色の塗り方に難はありますが、自然の色を出すのに二、三色の絵の具を混ぜて工夫して描いたようです。
画材は生活の中の遊びを取り扱っていますが、煙突のけむり、雲、ちょうちょ、花などに子どもらしい夢があふれています。
（小杉小　板垣美佐子先生）

小杉小学校六年　和澄章子さん

＜評＞
章子さんは、気持ちばかりでなく、実際に字にも〝美しさ〟を表わしたかったといっていますが、その通りで「美」がとても力強く書けたと思います。
「心」のはねが思うように行かなかったらしいが、思うことを内にばかりひめていないで、外側へ向けてどんどん発展して行こうという意味にとればいいですよ、と元気づけておきました。
力強くのびのびと書けたのではないでしょうか。
（小杉小　大沢　保先生）

しろがねの菊のご紋のみかさづき夫めでしささ遺影に供ふ
二木木原　ナミ

みあかしに菊のご紋のかぐやきて静もる部屋に香華たゆたふ

さ庭べの芙蓉の花の咲くころは我家の遠近笑ひごえ満つ

文化財調査審議会
伊藤威夫氏が委員長

横越村文化財調査審議会は七月十四日初会議を開き、正副委員長の互選と当面する事業の取り組みについて話し合いがされた。

同審議会は、まず事務局から文化財保護条例制定までの経過と条例の説明があったあと、正副委員長の互選を行い委員長に伊藤威夫氏、副委員長に、石井栄威氏が選任された。

当面する村文化財調査の事業取り組みについては、次回会議までに本村の埋蔵文化財天然記念物、考古資料、民俗資料などの実態を把握し、その後具体的に検討してゆくことを確認し、散会した。

村民野球大会

8月19日・26日

横越中学校グランド
横山野球場

トップ写真の説明

蝎牛様の五本松は、乳牛啣青センターの近くにある。

蝎牛様の由来は、「沢海落域根元記」に書れている。

沢海城主溝口公の家臣に佐川佐内と言う侍が居り、悪行を重ねた為に、ご家中の心あるものは、この悪行為体は御家滅亡も必至と思い、佐内を召捕え、死罪にした。

佐内は、殺害されるとき「この怨み忘れじ、後悪りょうなりて末代まで祟らん」といったという。

その翌年から毎年カタツムリが大発生し、農作は荒され大被害をうけた。

雨り果てた農民は、この悪りょうを鎮めるために石の小祠を建ててカタツムリを祀ったといわれている。

成人おめでとうございます

成人になられましたみなさまを祝うため、左記により成人式を挙行いたします。何とぞご出席くださるようご案内申上げます。

なお、案内もれもあると思いますが、今年の成人対象者は昭和二十七年四月二日から、昭和二十八年四月一日までに生まれたものです。

是非ご出席ください。

期日　八月十五日
午前十時開式
場所　横越中学校体育館

フォークバンドのつどい

○期日　八月十一日
午後七時三十分
○場所　横越村公民館
○参加　フォークグループ
四畳半

村内の若者たちフォークのつどいに参加して暑い夏をノックアウトしよう。

他のフォークグループ及び個人のとび入りを大歓迎します。

主催　フォークグループ
四畳半